

新労務単価フォローアップ相談ダイヤルの受付状況等(6月末現在) 国土交通省

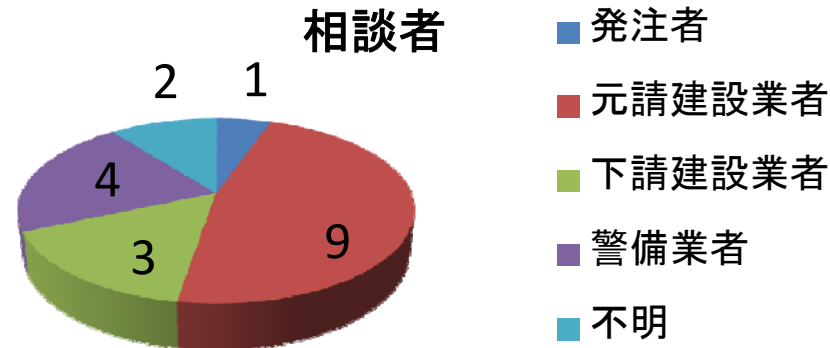
受付件数

○ 6月末日現在、19件。

北海道 ブロック	東北 ブロック	関東 ブロック	北陸 ブロック	中部 ブロック	近畿 ブロック	中国 ブロック	四国 ブロック	九州 ブロック	沖縄 ブロック
2	0	9	0	4	3	1	0	0	0

相談者の属性

○ 相談者は、元請建設業者が9件と最も多かった。



相談内容

<主な相談内容>

(発注者)

・請負業者への指導は、具体的にどのように指導すればよいのか。

(元請)

・公共発注者が適正に発注しているかを調べるべき

(一定の価格以下で入札するよう示唆され、従わない場合の不利益をほのめかされた。)

・24年度内に契約した工事について、発注者が単価をあげてくれない。

・24年度に契約した工事について、発注者の都合により着工が遅れた。その着工時期が新労務単価適用工事と重なるため、旧単価のままの工事に技術者が集まらない状況になっている。

(下請)

・元請に新労務単価で見積して良いか。旧単価で見積をしてくる他社との競争で負けてしまう。

・地元の大手ゼネコンが単価上昇に見合った見積りに理解を示さない(警備業者)。

発注者に関する相談	元請に関する相談	下請に関する相談	行政に関する意見	新労務単価等に関する照会	その他
3	2	0	2	12	0